

九州經濟國際化推進機構



2011年度 事業報告

<総括>

○九州経済国際化推進機構では、これまで産業交流を推進してきた中国、韓国及びアセアン地域との協力関係を構築し、九州企業のアジア展開を支援するため、九州一体となって、1. 九州地域の情報発信、2. 九州と海外との産業交流、3. 外国企業誘致支援、4. 留学生との交流事業を展開してきたところ。

○平成23年度事業においては、環黄海経済・技術交流会議や九州・韓国経済交流会議の定期会合、並びにMOUに基づくベトナムとの経済交流事業等を通じて海外との協力関係の強化を図るとともに、オール九州での商談会等を開催し企業の海外展開を支援。

<個別事業>

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1. 国際化戦略等の企画・立案 | ・・・P 3 |
| 2. 情報創造・発信<九州地域の情報発信> | ・・・P 4 |
| 3. 産業交流<九州と海外との産業交流> | |
| (1) アジア地域との経済・産業交流事業 | ・・・P 5 |
| (2) 海外ビジネス・経済情報提供事業 | ・・・P 9 |
| (3) 海外販路開拓支援事業 | ・・・P10 |
| 4. 産業立地<外国企業誘致支援> | ・・・P12 |
| 5. 人材交流<留学生との交流> | ・・・P13 |

1. 国際化戦略等の企画・立案（機構運営を含む）

○会員ニーズに基づくオール九州での効果的な事業を企画・立案していくため、アンケート調査を実施するとともに、「アジアビジネス戦略研究会」の議論を踏まえ今後の事業について検討を行った。

■ 九州経済国際化推進機構 幹事会・総会の開催

<幹事会>

日 程：平成23年4月25日(月)13:30～15:00

場 所：福岡市((社)九州経済連合会)

内 容：22年度事業報告及び決算報告、23年度事業計画及び予算案について審議を行った。

<総 会>

平成23年5月、書面により開催

■ 国際関係イベント、海外関係機関からの情報の共有

機構事業の進捗報告や事業案内、海外関係機関からの情報について、随時メール等により情報共有を行った。

<参考：アジアビジネス戦略研究会>

アジアの成長を九州に取り込むため、今後アジアでの成長産業となる分野の検討、既存の各産業分野におけるアジアビジネス展開方策や九州への投資促進、グローバル人材の育成・活用、アジアビジネス・サポートシステム構築といった「アジアビジネス戦略」を検討し、具体的な実施プログラムを策定することを目的に設置。

平成23年度は、海外水ビジネスや環境産業等をテーマに計5回開催。

[メンバー]

九州・アジアビジネス連携協議会、九州大学ビジネススクール(QBS)、国際東アジア研究センター(ICSEAD)、福岡県産業・科学技術振興財団、九州経済調査協会、九州経済連合会、九州地域産業活性化センター、福岡商工会議所、福岡貿易会、ジェトロ福岡、中小企業基盤整備機構九州支部、九州経済産業局(事務局)



アジアビジネス戦略研究会①



アジアビジネス戦略研究会②

2. 情報創造・発信<九州地域の情報発信>

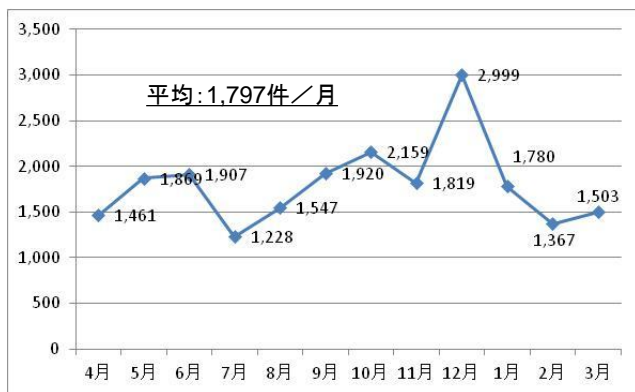
- 九州の投資環境、九州と海外との交流事業等について、ウェブサイトにより情報を発信。
- 広報資料「PROFILE OF KYUSHU」を活用し、国際会議、展示会、外国機関訪日等の場でPRを実施し、九州のプレゼンス向上を図った。

■ 九州経済国際化推進機構ウェブサイト

URL <http://www.kyushu-kei.org/>

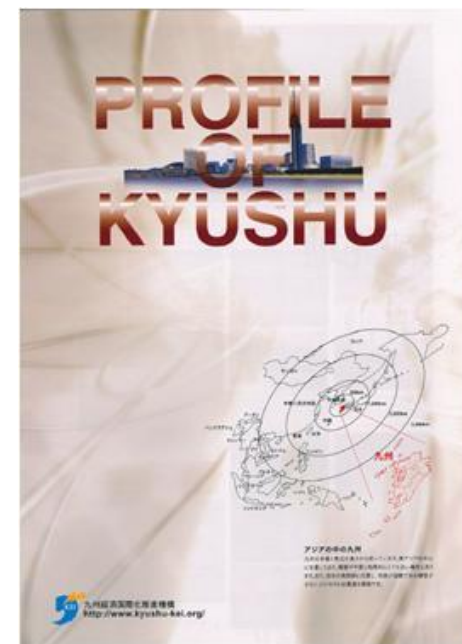
- ・平成23年度アクセス件数: 21,559件
※ページビューのトータル件数
- ・更新回数: 30回程度

平成23年度月別アクセス件数



■ PROFILE OF KYUSHU

(日本語、英語、中国語、韓国語版)



コンテンツ別・年度アクセス TOP10

1. トップページ	5,158	6. 環黄海地域交流	1,109
2. 九州の国際交流	1,649	7. 九州の投資環境	1,068
3. 国際化推進機構とは	1,500	8. 九州の観光	535
4. 九州のデータ	1,402	9. 韓国との交流	452
5. 九州の戦略産業	1,259	10. 中国との交流	410

3 (1) アジア地域との経済・産業交流事業～環黄海地域①

第11回環黄海経済・技術交流会議

- 九州の産業・企業が、国際競争力を確保し、持続的な成長を遂げていくためには、中国、韓国等の東アジア・環黄海地域の成長ダイナミズムと連動し、新しいニーズとシーズを結合させた、新たな価値創造が求められているところ。
- このような中、九州では、韓国、中国の中央政府や経済団体とのパートナーシップのもと、環黄海圏の経済交流の深化を図るため、2001年から、九・韓・中持ち回りで「環黄海経済・技術交流会議」を開催。
- 11回目となる今回は、「環黄海地域における日韓中産業構造の高度化」をメインテーマに設定。
- OWTA(世界科学都市連合)ハイテクフェア等を同時期に開催し、相乗効果の創出と情報発信力の強化を図った。

開催日時：2011年11月16日(水)～17日(木)

開催場所：大田広域市(大田コンベンションセンター)

参加規模：約400名(九州:112名、韓国:約180名、中国:約110名)

各国代表者

- ◇九州 松尾 新吾 九州経済国際化推進機構 会長 ((社)九州経済連合会 会長)
瀧本 徹 九州経済国際化推進機構 顧問 (九州経済産業局長)
- ◇韓国 朴 建洙(パク コンス) 知識経済部資源産業協力室局長
李 鐘允(リ チョンユン) (社)韓日経済協会 専務理事
- ◇中国 宋耀明(ソン ヤオミン) 商務部亞洲司 副司長
湯 庶(タン シュウ) 科学技術部国際合作司 参事官

次回開催地(2012年)

第12回環黄海経済・技術交流会議：中国 江蘇省 連雲港市(時期未定)

(参考1)環黄海地域

上海から大連、仁川から釜山に至る中国・韓国沿岸部及び九州からなる黄海を取り巻く地域経済エリア。
同地域の人口は約4億人(全世界の約6%)。GDPは全世界の約5%に達し、ASEAN(同2.3%)を上回る水準に達する。

(参考2)政府部内の積極的評価

一昨年5月、ソウルで開催された第7回日中韓経済貿易大臣会合にて本会議が取り上げられ、「環黄海経済・技術交流会議は、三国の地域間経済貿易協力推進のために積極的な役割を果たしている」旨の認識が共有されている。



3 (1) アジア地域との経済・産業交流事業～環黄海地域②

第18回九州・韓国経済交流会議

- 九州と韓国が、中小企業を中心に、それぞれが有する資金、技術、人材等の地域資源を相互補完し、貿易、投資及び産業技術の交流拡大と地域間交流を促進。
- 1993年より毎年交互に開催。九州と韓国の経済交流を推進する公的機関や自治体、民間団体等が相互に協力提案し、合意したものについて共同で実施。
- 18回目となる今回は、九州側16件、韓国側9件の提案について発表・議論。「九州・韓国超広域経済連携推進事業(IT・バイオ)」、「グローバル人材就職フェア」をはじめ、各機関による具体的な交流が進展しており、今後も関係者が頻りに交流し提案の内容について結果を出せるよう努力することで合意。
- 併催事業として、大田・九州経済交流商談会を開催し、ビジネス交流を促進。



【九州・韓国経済交流会議】

九州(23名)、韓国(30名)が参加し、九州側16件、韓国側9件の提案について発表・議論。



【MOU調印式】

第17回会議の提案により、一般社団法人九州日韓経済交流会と財団法人韓日産業・技術協力財団と産業技術交流及び経済協力に係るMOUを締結。



【交流会(商談会)】

九州と韓国(大田広域市等)の42社(韓国企業:25社)が参加し、九州の企業と1対1での交流会(商談会)を開催。

開催日時：2011年11月16日(水)

開催場所：大田広域市(大田コンベンションセンター)

参加規模：約100名(九州:45名、:韓国:55名)

次回開催地(2012年)

第19回九州・韓国経済交流会議：鹿児島県内(時期未定)

3 (1) アジア地域との経済・産業交流事業～環黄海地域③

環黄海会議

①第11回環黄海経済・技術交流会議(本会議)

- ⇨ 下記フォーラム等の事業総括(報告)に引き続き、今後の環黄海地域の経済・科学技術交流促進に向けた協力事業等の提案を各国から実施。
- ⇨ 「日韓中産業構造の高度化戦略」をテーマに九州・韓国・中国の3者が「貿易・投資」、「科学技術交流」、「教育・人材協力」の促進について協議を実施。韓国側代表者が今次会合を総括。

②環黄海科学技術フォーラム

- ⇨ グリーンエネルギー技術の発展と普及のために、日韓中3国の協力策等につき議論。

【日本側発表者】

後藤雄三NEDO北京所長、持田勲九州大学教授、門馬弘昌三菱重工業(株)主席技師、中村良道(株)スマートエナジー研究所CTOファウンダー

③環黄海ビジネスフォーラム

- ⇨ 環黄海地域での安定した部品素材供給網構築等について議論。

【日本側発表者】

大津留榮佐久 福岡IST事業総括、姫野智浩エスティケテクノロジー(株)本部長、渡辺正弘 イサハヤ電子(株)本部長

④環黄海代表者会合(三国局長会合)

- 九州経済産業局、韓国知識経済部、中国商務部・科学技術部
- ⇨ 「環黄海地域の産業構造の高度化」のために、三国政府当局が適切に支援していく旨を議長総括でとりまとめ。

⑤環黄海産学官連携総(学)長フォーラム

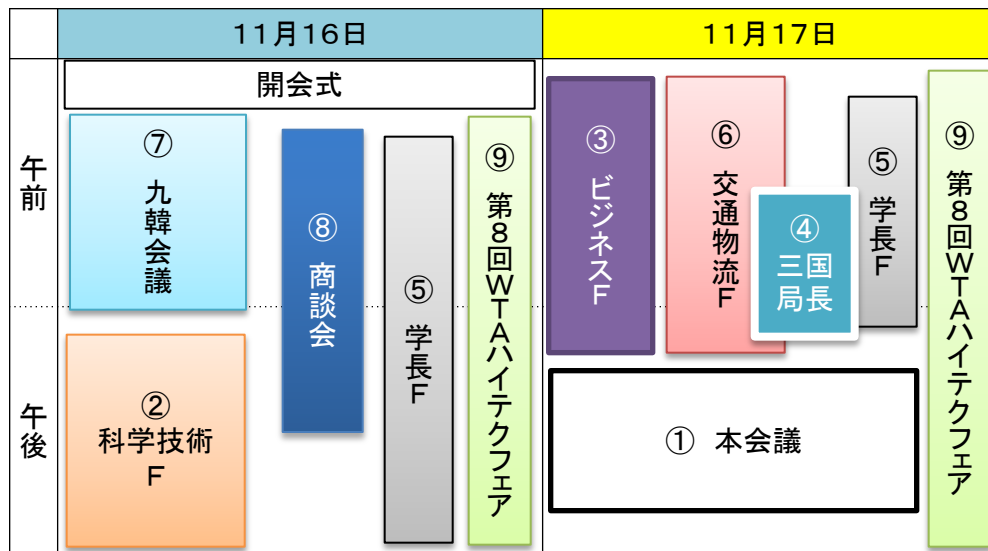
- ⇨ 環黄海地域の大学間で、環境、地域連携、人材育成の各テーマにつき議論。

⑥環黄海交通物流経済フォーラム

- ⇨ 環黄海地域において港湾物流、交通物流の円滑の障害になっている原因を探し、改善策を模索。

【日本側発表者】

谷村英彦 国際東アジア研究センター所長、大井尚司大分大学准教授、梅野修 一関市港湾局長、加峯隆義九州経済調査協会次長



環黄海会議 併催事業

九韓会議 併催事業

同時開催事業

⑦第18回九州・韓国経済交流会議

- ⇨ 九州・韓国間の経済交流促進のため、「中小企業間の経済交流拡大」、「ビジネス交流促進」、「地域間の経済交流支援」等の協力事業について提案・議論。「九州食品輸出連合の取り組み」等、食の海外展開に関する提案など25事業(九州側16件、韓国側9件)が提案され、双方の協力事業として実施していくことで認識が一致。

⑧大田・九州経済交流商談会

- ⇨ (社)九州日韓経済交流会(KNOCK)を中心とした企業16社と大田広域市の企業との商談会を実施。

⑨第8回WTAハイテクフェア

- ⇨ WTA会員(39カ国、77会員)の先端科学技術交流を活性化し、持続可能な科学都市発展に寄与しようとする国際的な技術博覧会。
- ⇨ 「未来の新しい成長動力:融合技術」をテーマに、新技術の発表と新商品を展示。

3 (1) アジア地域との経済・産業交流事業～ベトナム

○ベトナム計画投資省とのMOU締結(2009年2月)の具現化の一環として、九州経済国際化推進機構では、関係機関と共に、ベトナム政府計画投資省、商工省、地方政府機関、工業団地関係者及びベトナム進出日系企業などを招き、経済交流セミナー等を開催。

■九州・ベトナム経済交流事業

日 程：平成23年11月29日(火)～12月1日(木)

11月29日 14時～17時 セミナー
18時～20時 レセプション

11月30日 9時～17時 個別企業相談会
(福岡市及び北九州市)
企業視察

12月 1日 9時～12時 企業視察ほか

【セミナー】

場 所：ホテルニューオータニ博多(福岡市)

主 催：ベトナム政府計画投資省
九州経済国際化推進機構
(財)九州地域産業活性化センター
九州ベトナム友好協会

参加者：145名(103社・団体)

<結 果>

- ・ 今回のセミナーでは、ベトナムビジネスの総論のみならず、事前に質問を募集し、それに回答する手法で各論へ踏み込む内容としたため、参加者から、「多角的に話が聞けた」、「現地の実務、状況を興味深く聞けた」などの感想をいただいた。
- ・ また、前回(21年)開催したセミナーのアンケート調査で、ベトナム関係者との個別企業相談を期待する声があったため、今回の事業では、ベトナムビジネスに関心のある事業者の質問や要望に、ベトナム政府機関が回答する、個別企業相談会を初めて実施した。
- ・ さらに、企業視察は、管内企業とベトナム関係者との更なる理解や交流を深める機会となった。

<事業実施スケジュール>

1. 九州・ベトナム経済交流セミナー

- 講演1 ベトナムの投資環境と裾野産業育成政策
(ベトナム政府計画投資省副長官 グエン・ノイ氏)
- 講演2 ベトナムと九州との貿易振興
(ベトナム政府商工省 副長官 レー・ホアン・オアイン氏)
- 講演3 ベトナムの裾野産業と日系企業のビジネスチャンス
(海外投資アドバイザー 辻尾嘉文氏)
- 講演4 ティエンザン省の経済概要と外資誘致政策ほか
(ティエンザン省工業団地管理委員会
委員長 ボー・バン・ナム氏)
- 講演5 ベトナムの工業団地への投資のチャンス
(ベトナム投資ネットワーク副社長 グエン・ヴァー・ツーン氏)
- 講演6 ベトナムにおけるオートシステムの取組(事例紹介)
(株)オートシステム 代表取締役 徳安秀實氏)

2. 個別企業相談会(福岡市、北九州市にて開催)

- ① 企業A(福岡市中央区):現地での小売業の展開
- ② 企業B(久留米市):販売代理店等の探索
- ③ 企業C(福津市):輸入水産物の品質管理
- ④ 企業D(直方市):現地で駆動用機器の製造
- ⑤ 企業E(八幡東区):ビジネスパートナーの探索
- ⑥ 企業F(小倉南区):現地企業への出資

3. 企業視察

- ① TOTO(株)小倉第一工場:(衛生陶器製造)
- ② ウォータープラザ北九州:(環境関連施設)
- ③ 三島光産(株)精密成形金型事業部:(金型製造)



経済交流セミナーの状況



レセプション開会挨拶



個別企業相談会の状況



企業視察の状況

3 (2) 海外ビジネス・経済情報提供事業

○九州各地の情報ニーズやトピックスに応じて、最新の海外現地情報や支援制度の活用方法等についてセミナーを開催した。

■ 中国ビジネス勉強会

日 程：平成23年8月23日(月)14:00～16:30

場 所：久留米商工会議所(福岡県久留米)

主 催：久留米市、九州経済国際化推進機構、九州経済産業局

参加者：63名

<プログラム> 14:00～14:05 主催者挨拶
14:05～15:00 基調講演

①「中国市場の動向と課題」

②「日系進出企業のビジネスの現状と今後のチャンス」

講師：米川拓也氏(ジェトロ海外事業部 中国北アジア課)

15:00～15:15 「知的財産権の保護について」

15:15～15:30 質疑応答

15:40～16:30 個別相談会



<結果>

- ・中国市場の動向や知的財産の保護について、初心者向けの講演を実施。講演会後には、中小機構のアドバイザーによる個別相談会も実施。
- ・アンケート結果では、回答企業の約9割が役に立ったとの回答があった。

■ 遼寧省経済セミナー

日 程：平成23年9月5日(月)14:00～16:00

場 所：グランデはがくれ ハーモニーホール(佐賀市)

主 催：佐賀県、九州経済国際化推進機構、九州経済産業局

参加者：70名

<プログラム>

第一部「遼寧省経済・投資環境紹介」

遼寧省政府外事弁公室副主任 孫大剛(そんたいごう)氏
副処長 李向荣(りこうえい)氏

第二部「日本企業の対中ビジネス環境の新たな段階と中国東北部の可能性」
国吉澄夫 氏 (社)九州・アジアビジネス連携協議会理事・事務局長



<結果>

- ・遼寧省の経済・投資環境について、遼寧省政府関係者や対中投資に精通する有識者から講演を頂いた。
- ・参加者からは「政府関係者から現地の状況を聞くことができて良かった」等の感想を頂いた。

■ 経済産業講演会～グローバル経済と企業経営～

日 程：平成24年2月15日(水)13:30～16:00

場 所：博多都ホテル(福岡市)

主 催：(独)経済産業研究所、九州経済産業局、九州経済国際化推進機構

3 (3) 海外販路開拓支援事業～展示会・商談会①

○九州企業とアジア地域とのビジネス交流拡大を目的として、長崎県、鹿児島県、北九州商工会議所と連携し、中国国際工業博覧会(JETRO日本パビリオン内)に九州ブースを設置し、九州地域の環境関連企業の海外展開を支援。

■ 中国国際工業博覧会 共同出展

日程：2011年11月1日(火)～5日(土)

場所：中国・上海市(上海市国際博覧中心)

主催：九州経済国際化推進機構

出品者数：機構10小間、鹿児島県3小間、北九州商工会議所5小間

<推進機構> 推進機構、(株)アクアテック、(株)熊本清掃社、
ユニバーサルグリーンテクノ(株)、(株)ビッグハイオ、
三菱長崎機工(株)、(株)濱田屋商店、(株)
イサミヤ、(株)創生、(株)大橋

<鹿児島県> (株)トヨタ車体研究所、(株)南光

<北九州市> 東洋造船鉄工(株)、熱産ヒート(株)、環境
テクノス(株)、東光(株)、(株)豊光社

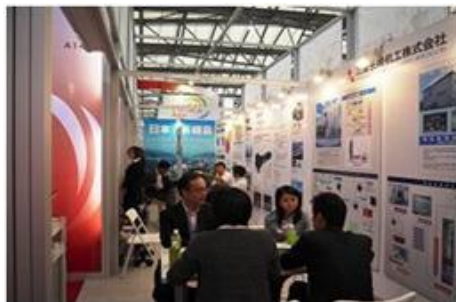
商談件数：467件

成約件数：31件(見込件数含)

役立ち度(アンケート結果)：役に立った：62.5%

まあまあ役に立った：25%

どちらかと言えば単独出展が良い：12.5%



「2011中国国際工業博覧会」概要

【会 期】2011年11月1日(火)～5日(土)

【会 場】上海新国際博覧中心(上海市浦東新区龍陽路2345号)

【主 催】国家発展改革委員会、商務部、科学技術部、工業和信息化部、教育部、中国
科学院、中国工程院、中国国際貿易促進委員会、上海市人民政府

【後 援】中国機会工業連合会

【運 営】上海世博(集团)有限公司

【展示規模】約150,000㎡

(参考)
マリンメッセ 11,351㎡
幕張メッセ 75,098㎡
東京ビッグサイト 80,660㎡

出展者の感想

- ・九州でまとまった配置であり、このため異業種であっても連携がとれ、来場者にも分かり易いブース集合であったと感じた。九州から海外へ情報発信ができたのも良かったし、スタッフの皆様に感謝。
- ・単独出展に比べ、九州としてまとまりの中での出展により、他企業訪問者も弊社を訪れるきっかけとなった。また共同出展先の方々と情報交換の機会にもなった。
- ・新規顧客の発掘に於いては、それなりに成果があったと思っており、今後、同様な展示会等の開催が有れば参加したい。
- ・ブースの上部に統一した<九州>という大きな文字を装飾していただき、大変目立っていました。
- ・中国初出展であったが、中国の下水処理の現況を生々の声で聞くことが出来た。中国での下水汚泥処理の関心の高さが伺えた。
- ・九州ブースの拡大により、日本ブース全体の中でも中心的存在になった。
- ・機構ブースの立地が、日本ブースの中央でかつ角ブースであったため、来場者にとって利便性が高かった。

3 (3) 海外販路開拓支援事業～展示会・商談会②

○農産物・食品分野におけるアジア地域のマーケット拡大を目的として、中国、香港、台湾等13ヶ国・地域からバイヤーを招聘し、食の商談会を開催。

○西日本最大の環境見本市「エコテクノ2011」の開催に合わせ、独自の環境技術を有する韓国企業や日中共同で環境ビジネスに取り組もうとする中国企業を一堂に集め、「アジア環境ビジネス商談会」を開催。

■九州食品輸出商談会in大分

日程：平成23年10月27日(木)～28日(金)

場所：大分東洋ホテル(大分市)

主催：ジェトロ、大分県、九州経済国際化推進機構、九州経済産業局

参加企業：九州各県の加工食品メーカー等72社

招聘バイヤー：中国、香港、台湾、タイ、シンガポール等13ヶ国・地域 24社26名

商談総コマ数：332件

成約見込件数：92件 *商品展示会や海外バイヤーを囲む交流会も併催



※九州内展示会等への協力支援

■MAP2010 第10回半導体実装国際ワークショップ

日程：2011年11月1日(火)～2日(水)

場所：福岡市(ヒルトン福岡シーホーク)

主催：MAP2011実行委員会、アジア半導体機構、福岡県産業・科学技術振興財団、日本貿易振興機構、電子情報技術産業協会、九州半導体イノベーション協議会、福岡県、福岡市、北九州市、東アジア経済交流推進機構、九州経済国際化推進機構、ふくおかフィナンシャルグループ(FFG)、九州経済調査協会

参加者数：245名 うち海外参加者21名(米国、インド、韓国、ドイツ、台湾、中国)

商談件数：308件(うち成約見込み件数40件) ※2011年11月2日ヒアリング時点

■アジア環境ビジネス商談会

日程：平成23年10月13日(木)

場所：西日本総合展示場・新館 エコテクノ会場内

主催：北九州市、九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、(社)九州経済連合会、北九州商工会議所、(財)西日本産業貿易コンベンション協会、(独)日本貿易振興機構

共催：西日本シティ銀行

協力：九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)、北九州環境ビジネス推進会(KICS)

参加企業：【日本】29社(うちK-RIP会員企業6社)、
【中国】11社、【韓国】4社

商談件数：72件

日韓⇒20件(うちK-RIP企業分2件)

日中⇒52件(うちK-RIP企業分14件)



4. 外国企業誘致支援事業

○地域活性化に効果的な外国企業誘致を推進するため、対日投資や企業誘致に取り組む九州の自治体担当者や関係機関等を対象に、外国企業誘致に関わる有識者や既に九州へ立地している企業を講師として招き、外国企業誘致の進め方に関する手法や最近の動向等を紹介。

■ 外国企業誘致研修会

日 程：平成23年8月30日(火)13:30～16:50

場 所：サンメッセ鳥栖(佐賀県鳥栖市)

主 催：九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、佐賀県

参加者：50名

<プログラム>

- ◇ 日本への投資状況、自治体支援を通しての成功事例等
アクセンチュア(株)公共サービス・医療健康本部 シニア・マネジャー 榎原 洋 氏
- ◇ M&Aの側面から見た外国企業誘致
(株)ドーガン・アドバイザーズ 代表取締役社長 森 大介 氏
- ◇ 質疑応答・意見交換
- ◇ 九州へ進出している外国企業の事例・活動状況
 - ① JR九州パトニ・システムズ(株) 取締役 営業本部長 鶴田 徹哉 氏
 - ② 日本ロバロ(株) 技術部 ディレクター 渡辺 勝 氏
- ◇ 質疑応答・意見交換
- ◇ 名刺交換会(～16:50)

<結 果>

- ・ 講演者に対する質疑では、国内の立地地点を決める要素や傾向など、日頃の実務経験を踏まえた実践的な質問があり、質問者以外にも有益な情報提供となった。
- ・ また、講演後の講師の方々及び参加者相互間の名刺交換、情報交換でも活発な交流が行われた。
- ・ 今後も、「先進地方自治体の取り組み・地域戦略」など、より実践的な研修を望む声が聞かれた。



外国企業誘致研修会



情報交換・名刺交換会

5. 留学生等活用支援事業

○企業の海外展開のために、我が国と海外とのブリッジ人材となりうる留学生の活用が期待されているところ。このため、セミナー、交流会及び会社合同説明会を開催し、企業と留学生との交流の場を設け、相互理解を深め、九州の企業における留学生活用への足がかりの場を提供。九州企業における留学生の活用促進を支援する事業を行った。

■ 留学生&長崎県内企業の交流会

日程・場所：平成23年11月12日(土)長崎会場(長崎商工会館)
平成23年11月19日(土):佐世保会場(富士国際ホテル)
長崎・佐世保会場とも 13:30~16:00

主催：九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、長崎県

参加者：長崎会場：企業7社 留学生43名
佐世保会場：企業3社 留学生16名

<プログラム>

【第1部】セミナー

- ①九州地域における留学生等グローバル産業人材の活用状況/九州経済産業局
- ②留学生と地元企業のための就労資格案内/国際法務研究会
- ③留学生を採用した企業の成功事例/(株)タケシマ(長崎会場)・(株)丸協食産(佐世保会場)
- ④長崎で就職した元留学生の体験談/ハウステンボス(株)(佐世保会場のみ)

【第2部】留学生と県内企業の交流会

■ 九州企業・留学生交流フェアin北九州

日程：平成23年12月1日(木) 15:00~18:30

場所：北九州国際展示場AIMビル(福岡県北九州市)

主催：九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、北九州市

参加者：企業関係者60名、留学生120名、出展企業13社

<プログラム>

【第1部】セミナー

- ①グローバル産業人材活用セミナー/
(独)中小企業基盤整備機構九州支部、(株)戸畑ターレット工作所
- ②留学生就職支援セミナー/九州アジア人財協議会

【第2部】交流会・会社合同説明会

- ①九州企業と留学生OB・OG等との交流会
- ②外国人留学生採用予定企業による会社合同説明会

■ 企業と留学生の交流フェア

日程：平成24年1月22日(日) 13:30~16:50

場所：別府国際コンベンションセンター(大分県別府市)

主催：九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、大分県、
大分地域留学生交流推進会議、特定非営利活動法人
大学コンソーシアムおおいた

参加者：留学生200人、出展企業30社

<プログラム>

【第1部】開会式・講演

事例発表/(株)筑水キャニコム、山下工芸(株)

【第2部】ブースセッション



留学生&長崎県内企業の交流会



九州企業・留学生交流フェアin北九州



企業と留学生の交流フェア

<結果>

- ・セミナーや講演では、留学生を採用した企業・就職した元留学生からの事例などを紹介。事例をもとにした講演は、参加した企業担当者や留学生にとっても非常に参考となる内容であった。
- ・交流会や会社説明会では、企業側から事業内容や採用についての説明が行われたほか、意欲的な留学生が多く、活発な意見交換が行われ、相互理解を深める機会となった。